

2024年秋季開催 ICCAIAボード及び 関連イベント報告

2024年9月24日に、ICCAIAのボード会議がモントリオールで開催され、当会からは専務理事と小職が参加した。あわせて、国際民間航空機関（ICAO）日本政府代表部訪問とICCAIAボード参加者とモントリオール市の関係者及びICAO幹部を交えた懇談会への参加をおこなったので、以下報告する。

1. ICCAIA ボード会議

今回のボード会議では、ICCAIAの拡張計画及び予算案についての討議が中心であった。また、2025年3月にステイクホルダーにICCAIAの活動を知ってもらうイベント開催の計画や、2025年9月開催のICAO総会に向けての準備についての説明も行われた。

参加者は議決権を持つAIA（米国）、ASD（欧州）、AIAC（カナダ）、AIAB（ブラジル）及びSJACと、準会員からはFEMIA（メキシコ）、それにICCAIAのモントリオール駐在である。準会員のAAIS（シンガポール）、CSAA（中国）、MAIA（マレーシア）は欠席であった。アジェンダに沿ってボードでの概略を以下に示す。

番 号	件名(アジェンダ項目)	内 容
1	Welcome Eric Fanning, Chair, ICCAIA Board of Directors	ICCAIAの議長であるEric氏より開会の宣言が行われた。
2	Approval of the Agenda and the Minutes Eric Fanning	前回（2024年3月）のボード会議議事録の承認が行われた。コロナ禍後の状況を反映した5年戦略の見直し、ICCAIAの機能拡張計画の進捗確認などが会議議事録に含まれている。
3	Review of 2024 Dan Carnelly, Nina Brooks	ICCAIAのICAO駐在のDan氏とNina氏より2024年の活動報告として、5年戦略見直し、ICCAIAの機能拡張の取組、ICAOの各種会議でのロビー活動等が説明された。
4	2024 Financial Results Mike Mueller	通常のオペレーション向けは、節約により赤字幅の縮小があり計画内であった。機能拡張向けは、補助金入金時期のずれもあり計画を超える赤字であった。合算すると約3,000カナダドルの改善があった。
5	Outlook for 2025 Dan Carnelly, Nina Brooks	2025年の主なイベントは、ICAO関連ではCAEP会議（2月）、ICAO総会（9月）が予定されている。また、3月にはICCAIAのボード会議にあわせてステイクホルダーにICCAIAの活動を知ってもらうイベントを開催することなどが説明された。
6	ICCAIA Management Alignment Dan Carnelly, Nina Brooks	機能拡張にあわせて、ICAO駐在メンバーの役割分担の再定義と再分配をおこなうことが説明された。

7	ICCAIA Expansion Project – Step 2 Dan Carnelly, Nina Brooks	機能拡張について2026年までの計画（Step2）の説明が行われた。現在の5.5名体制を7.5名体制にすることや、モントリオール政府からの補助金のスケジュールなどが含まれている。
8	2025 AGM and Conference Planning Dan Carnelly, Nina Brooks	3月にICCAIAのボード会議にあわせてステイクホルダーにICCAIAの活動を知ってもらうイベントを開催する。その概要及びスポンサーシップ募集の説明。3月26日から28日の三日間の予定。
9	Associate Members Forum Dan Carnelly, Nina Brooks	準会員の会員企業の多くは部品製造やMRO専業で構成されており、このフォーラムは彼らがICCAIAの活動に価値を見出せる取組を検討することが目標としたものであることが説明された。
10	ANEC Leadership solution Dan Carnelly	ANEC（騒音・燃焼の技術専門委員会）にVice Chairとして技術担当と戦略担当をそれぞれ置いて活動していくことについての説明が行われた。
11	Any Other Business Eric Fanning	ERIC氏の議長として任期は2024年末までであり、規約通り2025年からはASD（欧州）のJan Pie氏が議長に就任する予定であることが表明された。

2. 国際民間航空機関（ICAO）日本政府代表部訪問

ボード会議の前日（9月22日）には、ICAOの日本政府代表部を訪問し、特命全権大使 赤松武氏と国土交通省航空局より派遣されている一等書記官 徳永博樹氏と情報交換の機会を持った。ICAO総会（2025年9月）開催に向けての準備が始まっていることに加えて、国土交通省航空局航空政策戦略監の大沼俊之氏によるICAO理事会議長選挙への立候補についてもお話があった。

3. モントリオール市他との懇談会

モントリオール市との提携と連携しているICCAIAの拡張計画は始まっており、ボード会議の機会に、モントリオール市の関係者とICAO幹部を交えた懇談会が9月24日のお昼に開催された。当日は、ICCAIAのボード参加者とモントリオール市関係者やICAO幹部との交流が行われた。



右からICAO理事会議長のSalvatore Sciacchitano氏、ICAO事務総長のJuan Carlos Salazar氏ほか

4. 所感

2025年9月に開催されるICAO総会に向けた準備が始まっている。民間航空の2040年や2050年でのCO₂削減目標（CORSIAやLTAG）に対する、具体的な取組や2030年代に目指すものなどについても今度のICAO総会で討議

される見込みである。次世代航空機に大きく影響する可能性があるものであり、ICCAIAの活動を通じて情報収集などをおこない、各位との共有を図っていければと考えます。引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 国際部部長 羽中田 実〕

◆新会員のお知らせ◆

2024年10月ご入会（順不同）

【正 会 員】 株式会社日立インダストリアルプロダクツ

【賛助会員】 株式会社中央図研

レイセオン システムズ サポート カンパニーズ